



2025年8月12日

各 位

会社名 大東港運株式会社  
代表者名 代表取締役社長 曾根好貞  
(スタンダード・コード9367)  
問合せ先 執行役員総務部長 村上雅彦  
電話番号 03-5476-9701

## サステナビリティ基本方針の策定に関するお知らせ

当社は2025年8月12日開催の取締役会において、サステナビリティ基本方針の策定について、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせします。

記

### 1. サステナビリティ方針

当社グループは、「『ありがとう』にありがとう」のコーポレートフィロソフィーの下、社会に必要不可欠な港湾運送・倉庫・物流サービスを担う企業として、持続可能な社会の実現に貢献します。当社グループは、企業理念ならびに創業以来培ってきた信頼と実績をもとに、次の項目をサステナビリティ方針として掲げ、次世代へつなげる価値を創造し続けます。

#### ① 環境負荷の低減

当社グループは、環境保護を企業の重要な責務と認識し、CO<sub>2</sub>排出量削減やエネルギー効率の向上に努めます。また、環境負荷を低減する物流オペレーションの推進、省エネルギー型設備の導入、3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動の推進などを通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。これからも、地球環境との調和を図りながら、より環境に配慮した事業活動を展開してまいります。

## ② 労働環境の改善と人材育成

当社グループは、すべての従業員が安心して働き、個々の能力を最大限に発揮できる環境の提供を最優先課題としています。多様な人材が活躍できる職場づくり、働き方改革の推進、健康経営の促進に取り組み、従業員一人ひとりの成長を支援します。当社グループは、社員の幸福と企業の持続的な成長が一体となる企業風土を築き、より良い労働環境の確立を目指します。

## ③ 安心・安全なサービスの提供

当社グループは、物流・港湾運送業務のプロフェッショナルとして、安全で高品質なサービスの提供を使命としています。労働災害ゼロを目標に掲げ、安全教育やリスク管理を徹底するとともに、最新技術を活用し、業務の効率化と品質向上を図ります。お客様に安心してご利用いただける物流サービスの提供を通じて、持続可能な社会の発展に寄与してまいります。

## ④ 地域社会との共生

当社グループは、地域社会とともに発展することを重要な使命と考えています。地域経済の活性化支援、社会貢献活動の推進を通じて、社会と共生する企業としての責務を果たします。当社グループは、地域の皆さまとともに歩み、豊かで持続可能な社会の実現を目指します。

## ⑤ コンプライアンスとガバナンスの強化

当社グループは、公正で透明性の高い企業経営を実践し、社会からの信頼に応えます。法令順守の徹底、企業倫理の確立、リスクマネジメントの強化を通じて、健全な経営基盤を構築し、すべてのステークホルダーに対して誠実で責任ある事業運営を行います。これからも、高い倫理観と誠実な企業活動を通じて、持続可能な成長を実現してまいります。

## 2. マテリアリティ（重要課題）

当社グループは、持続可能な社会の実現に向けて、以下の4つの重要課題（マテリアリティ）を特定し、積極的に取り組みます。

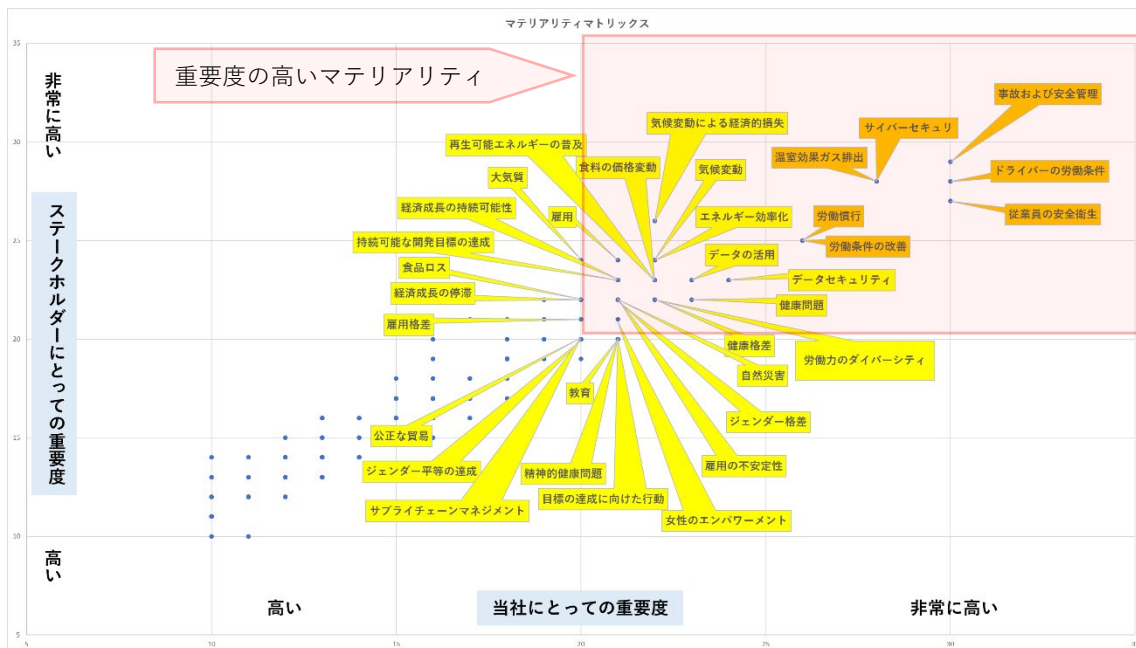
重要課題（マテリアリティ）	主要な取り組み
<p><b>環境に配慮した事業推進</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CO<sub>2</sub>排出量削減のためのモーダルシフト推進</li> <li>・省資源活動および省エネルギー対策の推進</li> <li>・GHG（温室効果ガス）削減への取り組み</li> </ul>
<p><b>人財の尊重と労働環境の充実</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な人財の活躍を支える職場環境の整備</li> <li>・働き方改革の推進</li> <li>・社員の研修・教育プログラムの充実</li> <li>・健康経営と安全衛生管理の強化</li> <li>・効率化・生産性向上の実現</li> <li>・サイバーセキュリティの強化</li> </ul>
<p><b>安心・安全な物流サービスの提供</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働災害ゼロを目指した安全対策の徹底</li> <li>・最新技術を活用した高品質物流の提供</li> <li>・物流の効率化による省エネルギー推進</li> </ul>
<p><b>地域社会への貢献</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域スポーツ・文化活動への貢献</li> <li>・フードロス削減への貢献</li> <li>・地域経済の活性化への貢献</li> </ul>

当社グループは、これらの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に向けた責任を果たし、社会的価値を創造してまいります。

### 3. マテリアリティの特定プロセス

<p>STEP1 検討すべき課題の抽出</p>	<p>GRI スタンドアードや国際的なガイドラインをもとに、関連性が高いと思われる 131 の社会課題を抽出。</p>
<p>STEP2 課題の重要性（優先度）を評価</p>	<p>「ステークホルダーの重要度」と「当社事業への重要度」の両軸から課題を評価し、特に優先度の高い課題を選定。</p>
<p>STEP3 マテリアリティの特定</p>	<p>重要性評価からマテリアリティを特定し、サステナビリティ委員会での協議を経て、取締役会に報告。</p>

#### 4. マテリアリティマトリックス



#### 5. マテリアリティの特定

ステークホルダーおよび当社にとって重要な社会課題	特定したマテリアリティ
温室効果ガス排出、気候変動、再生可能エネルギーの普及	環境に配慮した事業推進
労働力のダイバーシティとインクルージョン、労働条件の改善、ジェンダー格差、雇用格差、労働力・担い手不足、従業員の安全衛生・教育、サイバーセキュリティ	人財の尊重と労働環境の充実
公正な貿易、事故および安全管理、ドライバーの労働条件、サプライチェーンマネジメント	安心・安全な物流サービスの提供
食品ロス、経済成長の持続可能性、自然災害、食料の価格変動	地域社会への貢献

以 上